



### 黒田官兵衛 孝高 (くろだ かんべえ よしたか)

戦国～江戸前期の戦乱期を駆け抜けた名将。知略を駆使し豊臣秀吉の参謀として天下取りを支えたが、その才知ゆえに秀吉に恐れられた。天正15年(1587年)、九州平定の功績により豊前6郡12万石の大名となった。中津城 初代城主。家督を子の黒田長政に譲った後も秀吉の軍師として活躍し、「小田原城攻め」「文禄・慶長の役」に参戦。また、天下分け目の「関ヶ原の戦い」を機に、天下取りの夢を持って豊前国中津で挙兵し、九州の大名を次々に制圧していった。



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

© 2014 日本郵便株式会社

